

行政から見た EHR への期待



長浜市健康福祉部

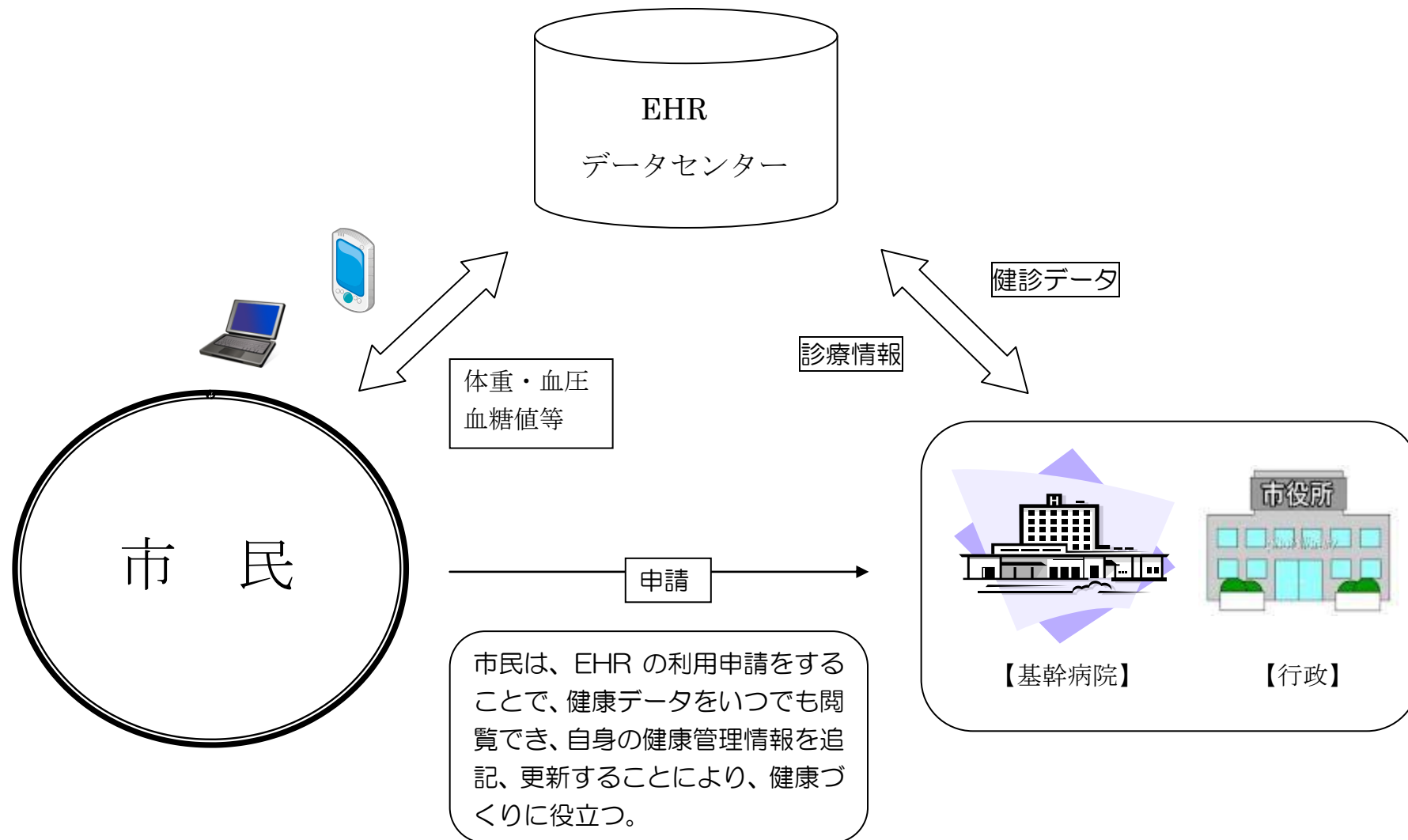
健康推進課長 藤居 敏

1. 長浜市の概況

- 平成22年1月1日 1市6町合併
- 人口12万5千人 面積539.48km²
- 市域の約7割が山間部
- 無医地区に準じる地域 2カ所

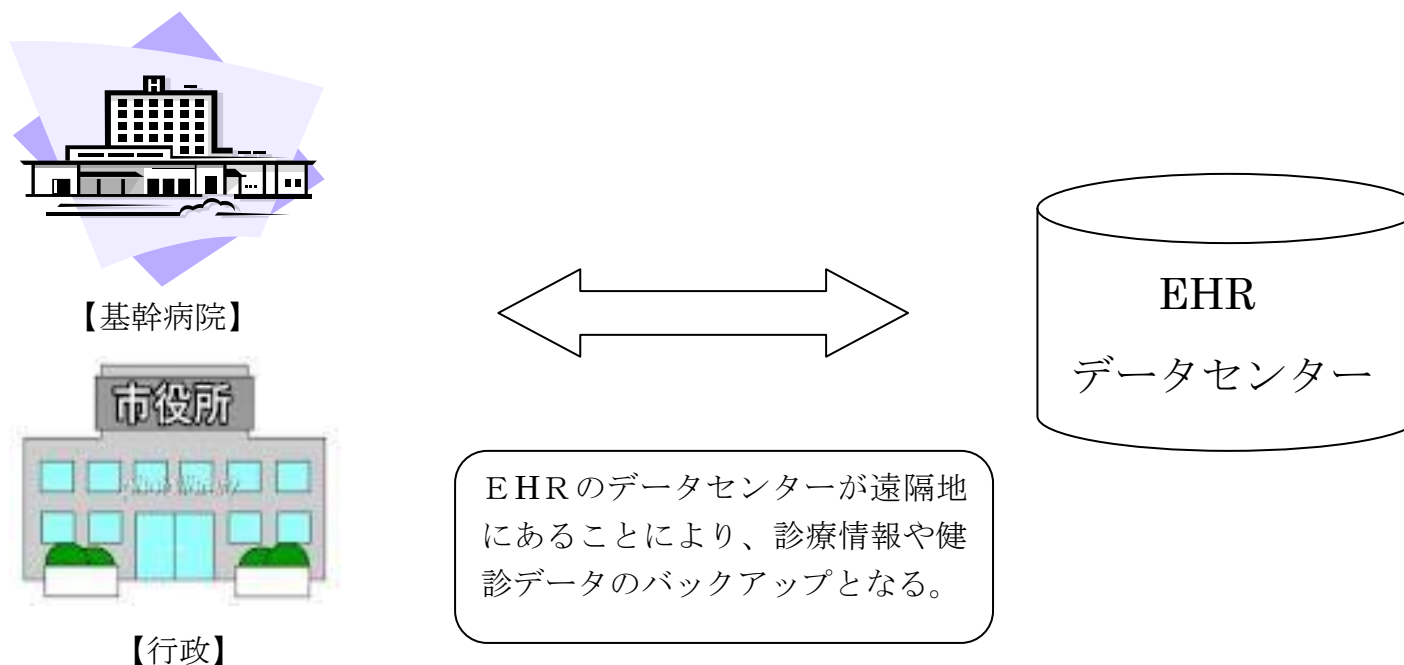


長浜市民の健康づくり



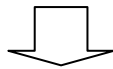
災害時・災害時における防災機能

- ・災害等の非常時における診療情報や健診データのバックアップとして有効
- ・携帯電話等の携帯端末へのプッシュ方式データ送信による災害時への備え

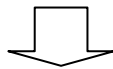


長浜市のへき地医療対策

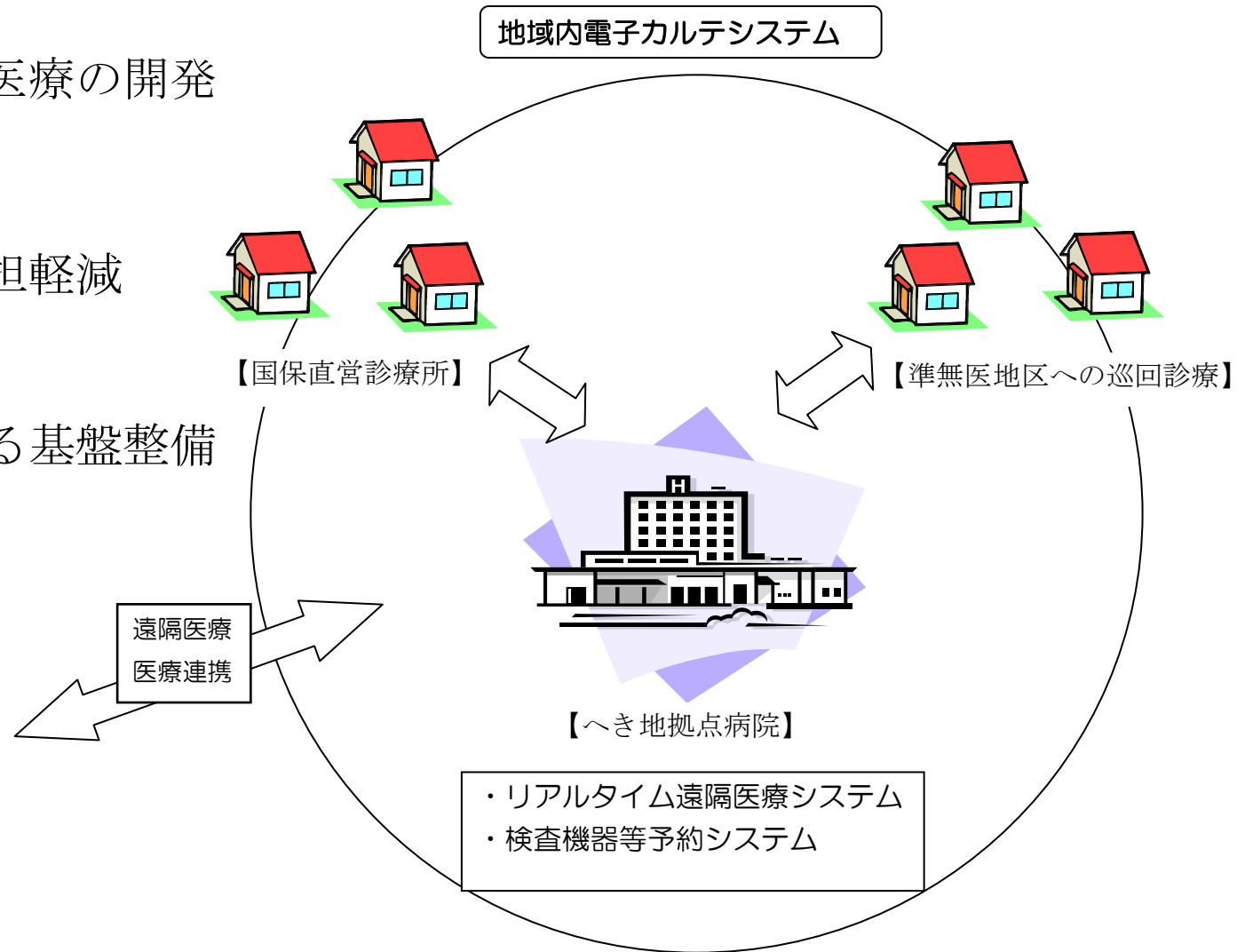
- リアルタイム遠隔医療の開発



- 医師・看護婦の負担軽減

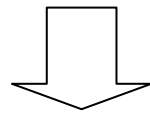


- 医師確保につながる基盤整備



0次予防コホート事業追跡調査への活用

- ・ 0次予防コホート事業とは、2007年に長浜市と京都大学が共同で推進しているゲノムコホート研究のことであり、事業への参加者は、約1万人である。
- ・ 約1万人の医療情報を追跡調査するには、仕組みをつくる必要がある。



- ・ **EHR** システムが構築されれば、0次予防コホート事業参加者の基幹病院における医療データを収集することが可能となる。

その他の事業展開について

- (仮称)健康カード導入によるトータル的な健康づくりシステムの構築。
 - 特定健診
 - 乳幼児健診
 - 各種がん健診
 - 予防接種
- などの予約や履歴管理を行う等。

事業実施における課題

- 各医療機関の患者名寄せのための共通 ID について
国（総務省：マイナンバー、厚労省：(仮称)医療ナンバー)の動向
県（地域医療再生計画）の動向
- EHR システムの民間診療所への広がりについて
- 院外処方における薬剤情報のデータ反映について